

## 「事件と報道」

私の単身赴任地の島根県益田市から JR で小 1 時間のところに、山口県阿武町がある。人口 3000 人、町にはコンビニが一軒もないという日本海に面した自然豊かな町である。

その町で 4630 万円の誤送金問題が勃発した。ミスをしでかしたのは町職員なのに、町が全額返金を迫ったら、受け取った青年は素直に応じようとしたもののなぜか豹変し返金を拒んだ。受け取った青年は入金を知りえた時点では善意の第三者だった。現金の落とし物を持って届けて落とし主が判明したら、拾得者は 5～20%の範囲内でお礼を受け取れる権利がある。誤送金を落とし物と同様とは言わないが、その考え方に基づいて受け取った青年にお礼を払うことで返金をお願いしていれば、ことは収まったのではないかと素人ながらに思う。

それにしても、朝のワイドショーといいメディアは連日この話題を取り上げ報道し続けた。そしてついには、カジノ代行会社から全額に近い返金があったというから、話題としては面白い。だが、あれだけ連日報道されても、阿武町役場内でなぜあのようなミスが起こったのか、詳細な報告は今もない。

しかし、この事件は本当に毎日報道されなければならないような事件なのか？ 原因と結果の簡単な報道で済ませてよかったはずである。なぜなら、私たちがその事件から教訓化できるようなことは何も存在しないからだ。なにか日本のメディアの姿勢に疑問を感じてしまう。政治家の失言は必ずと言っていいほど取り上げるが、あの公文書改ざん問題はその後どうなったのか、100 回以上も国会で偽証した元総理の政治責任は本当に検証されたのだろうか？ それらはメディアが積極的に取り上げてくれない限り、国民の記憶の中からは静かに何事もなかったかのように消え去ってしまう。

ちなみに日本の報道自由度のランキングは、国際ジャーナリスト組織「国境なき記者団」の発表によれば、180 カ国中なんと 71 位であり、先進国の中では最下位であることは驚きである。表現の自由はどこへ行ったのか？ どこかで忖度がなされ、誰かに自由が制限されている。

(丹羽 豊)